

# 大磯の災害

地響きがガドロドロっていつて

津波はドーンときて大磯の堤防にぶつかって

船がね、その松のね、てっぺんの上へ

船がのっかってんだよ。

脱線して汽車が突っとなつてんせえだあ。

天が崩れ地が欠け、昔の泥海となる

ワンワン子供が泣いている。みんなが泣いている

家がドスーンと

— かつてこの地で起きたこと —

平成25年3月9日(土) — 5月12日(日)

開館 午前9時～午後5時

休館日 月曜日(祝日または休日にあたる場合は開館し、翌日休館)・館内整理日

入館料 無料

大磯町郷土資料館

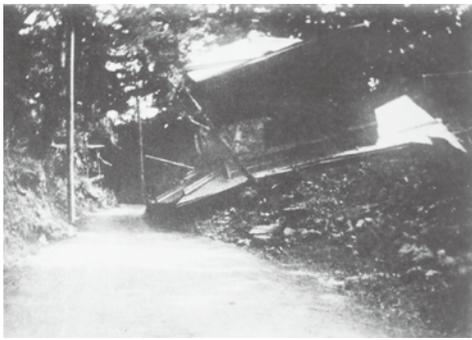
〒255-0005

神奈川県中郡大磯町西小磯 446-1

TEL 0463(61)4700 / FAX 0463(61)4660

<http://www.town.oiso.kanagawa.jp/shisetsu/shiryokan/index.html>

写真 上「大磯平塚間鉄道列車」(大磯町) / 下「倒壊した大磯駅(平塚方面を望む)」(大磯町)  
証言 大磯町郷土資料館「資料館資料2 むかしがたり-古老が語る大磯の災害-」、大磯町「大磯町史3 資料編近現代(1)」より転載



写真左上「国府本郷切通ノ被害」『震災記録』より  
 /大磯町立図書館所蔵  
 写真左下 絵葉書「大磯照ヶ崎に露はれた新岩」  
 /杉崎俊和氏提供  
 写真右「大破スル警察署」『震災記録』より  
 /大磯町立図書館所蔵

# 大磯の災害

かつてこの地で起きたこと

東日本大震災をきっかけに、全国で過去に発生した災害が注目され、その事実から将来の防災へ役立てようとする動きが見られます。

大磯では、大正12年9月1日に発生した関東大震災によって、約60の方が亡くなりました。記憶に新しい大災害はこの関東大震災ですが、台風による高潮、河川の氾濫、そして富士山などの噴火による降灰は、町域に被害をもたらしてきました。

本展では、大磯町域で発生した過去の自然災害を検証します。

## 企画展関連行事

### 1 講演会「大磯の地震被害と地盤を知る」

関東大震災を中心に、大磯で発生した過去の地震被害と大磯の地盤について講師の先生からご講演いただきます。

日時：平成25年3月20日（水・祝） 13:00～16:00

場所：郷土資料館 研修室

講師：「関東大震災と相模湾沿岸の被害の諸相」

北原糸子氏（立命館大学歴史都市防災研究センター教授）

「地震と大磯の地盤」

森慎一氏（平塚市博物館学芸員）

定員：60名（申し込み不要、先着順。定員を超えた場合は、立ち見となりますので、ご了承ください。）

### 2 パネル展示

災害が発生したとき、地域に残されている貴重な資料も被害を受けます。東日本大震災等における被災資料を救うための活動について紹介します。

期日：平成25年3月9日（土）—5月12日（日）

場所：郷土資料館 廻廊

共催団体：神奈川歴史資料保全ネットワーク

### 3 展示解説

会期中、下記の日程で担当学芸員による展示解説を行います。

日時：平成25年3月24日（日）、4月28日（日）、

5月5日（日）

各日 14:00～

場所：郷土資料館 企画展示室

## 利用案内

【開館時間】9:00～17:00（入館は16:30まで）

【休館日】月曜日（祝日または休日にあたる場合は開館し翌日休館）、館内整理日（4/2、5/1）

## 【アクセス】

電車：JR 東海道線大磯駅下車

徒歩 約30分（約2km） /

バス「二宮駅行」「国府津駅行」「湘南大磯住宅行」

城山公園前下車約5分

車：小田原厚木道路 大磯インターより約5分 /

西湘バイパス 大磯西インターより約2分

**P** 駐車場あり（県立大磯城山公園駐車場利用）



大磯町郷土資料館

〒255-0005

神奈川県中郡大磯町西小磯 446-1

TEL 0463(61)4700 / FAX 0463(61)4660

http://www.town.oiso.kanagawa.jp/shisetsu/shiryokan/index.html